



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
コード番号 3104 URL <http://www.fujibo.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中野 光雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 三木 康史

TEL 03-3665-7612

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,117	5.3	3,068	33.3	2,933	36.1	1,753	60.1
24年3月期第2四半期	19,106	6.4	2,302	22.1	2,155	22.7	1,095	94.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,682百万円 (56.7%) 24年3月期第2四半期 1,073百万円 (129.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17.18	—
24年3月期第2四半期	10.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	43,899	15,215	34.6
24年3月期	40,129	13,941	34.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,169百万円 24年3月期 13,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,200	13.6	6,100	74.3	5,700	78.6	3,400	160.3	33.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	108,000,000 株	24年3月期	108,000,000 株
25年3月期2Q	5,930,727 株	24年3月期	5,927,831 株
25年3月期2Q	102,071,275 株	24年3月期2Q	102,074,314 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機や中国経済の成長鈍化など海外経済の減速感が強まるなか、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、繊維素材、肌着などの繊維事業と超精密加工用研磨材の研磨材事業および医薬中間体などの受託製造の化学工業品事業を中心に営業力、開発力の強化を進め、収益力の改善に努めました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は20,117百万円(前年同期比1,011百万円、5.3%の増収)で、営業利益は3,068百万円(前年同期比766百万円、33.3%の増益)、経常利益は2,933百万円(前年同期比777百万円、36.1%の増益)となりました。また四半期純利益は、1,753百万円(前年同期比658百万円、60.1%の増益)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①繊維事業

B. V. D. ブランドなどの繊維製品では、個人消費低迷の影響が続くなか、季節商材を中心にプライベートブランド商品との競争激化により、大手量販店など店頭での販売苦戦を強いられました。紡績、テキスタイルも需要の低迷と原綿他原材料価格の下落に伴う値下げ要請により厳しい環境で推移しました。

この結果、売上高は前年同期比429百万円(5.4%)減収の7,498百万円となり、営業利益も214百万円(66.1%)減益の110百万円となりました。

②研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、シリコンウエハー、ハードディスク用途は低調でしたが、液晶ガラス用途は回復基調となりました。これに半導体デバイス用途(CMP)での大幅な伸びと新規用途への参入も相まって、第2四半期累計期間としては過去最高の売上高、営業利益を計上することができました。

この結果、売上高は前年同期比1,338百万円(24.6%)増収の6,785百万円となり、営業利益は977百万円(57.0%)増益の2,693百万円となりました。

③化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、農薬・機能品を中心に引き続き堅調に推移し、フル生産を続けることができました。

この結果、売上高は前年同期比213百万円(6.8%)増収の3,371万円となり、営業利益は41百万円(22.4%)増益の225百万円となりました。

④その他

自動車関連部門では、日本からの輸出が減少したものの、アジアから中南米への輸出が概ね順調に推移しました。精製部門および化成品は国内ユーザーの生産回復や新規受注獲得により前年同期比増収・増益となりましたが、電子機器製品の産業用プリント基板はコスト構造の改善を進めたものの、ユーザーからの受注が回復せず低調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比110百万円(4.3%)減収の2,461百万円となり、営業利益は37百万円(49.2%)減益の38百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて3,203百万円増加の20,441百万円となりました。これは、現金及び預金、その他流動資産は減少しましたが、研磨材事業の売上増加や買収したアングル㈱が連結子会社となったことにより受取手形及び売掛金、棚卸資産などが増加したこと等によります。固定資産は前連結会計年度末に比べて567百万円増加の23,458百万円となりました。これは、投資その他の資産は減少しましたが、設備投資などにより有形固定資産が増加したこと等によります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて3,770百万円増加の43,899百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて2,245百万円増加の20,259百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、短期借入金、その他の流動負債が増加したこと等によります。固定負債は前連結会計年度に比べて251百万円増加の8,424百万円となりました。これは、長期借入金は減少しましたが、退職給付引当金が増加したこと等によります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて2,497百万円増加の28,684百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて1,273百万円増加し、15,215百万円となりました。これは、剰余金の配当の実施による減少408百万円があった一方、四半期純利益を1,753百万円計上したこと等によります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末比728百万円減少の2,486百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,460百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益2,566百万円、減価償却費676百万円等の収入がありましたが、売上債権の増加2,298百万円、法人税等の支払877百万円等の支出があったことによります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、350百万円となりました。これは、主として固定資産取得に充てたものであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、1,827百万円となりました。これは、主として借入金の返済や配当金の支払に充てたものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

引き続き研磨材事業の業績が期初における予想を上回る水準で推移しており、また、新規用途分野での需要増も見込まれることから、平成24年7月31日に公表した通期の業績予想を修正致しました。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,214	2,488
受取手形及び売掛金	8,321	11,288
商品及び製品	2,424	3,177
仕掛品	1,171	1,467
原材料及び貯蔵品	972	1,092
その他	1,144	942
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	17,238	20,441
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,447	13,794
その他(純額)	7,666	8,000
有形固定資産合計	21,114	21,794
無形固定資産	197	203
投資その他の資産		
その他	1,585	1,464
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	1,579	1,459
固定資産合計	22,890	23,458
資産合計	40,129	43,899

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,972	5,291
短期借入金	9,674	10,283
未払法人税等	809	1,089
賞与引当金	566	601
引当金	—	164
設備関係支払手形	144	490
その他	1,846	2,337
流動負債合計	18,013	20,259
固定負債		
長期借入金	940	620
退職給付引当金	3,542	4,234
引当金	5	10
資産除去債務	200	205
その他	3,484	3,354
固定負債合計	8,173	8,424
負債合計	26,187	28,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,400	5,400
資本剰余金	0	0
利益剰余金	6,866	8,070
自己株式	△653	△653
株主資本合計	11,613	12,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	9
繰延ヘッジ損益	3	△0
土地再評価差額金	2,222	2,364
為替換算調整勘定	△36	△21
その他の包括利益累計額合計	2,287	2,352
少数株主持分	40	45
純資産合計	13,941	15,215
負債純資産合計	40,129	43,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	19,106	20,117
売上原価	12,637	12,746
売上総利益	6,468	7,371
販売費及び一般管理費	4,166	4,302
営業利益	2,302	3,068
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	19	21
固定資産賃貸料	81	79
為替差益	—	7
その他	23	23
営業外収益合計	125	132
営業外費用		
支払利息	108	98
固定資産賃貸費用	54	51
その他	109	117
営業外費用合計	271	268
経常利益	2,155	2,933
特別利益		
固定資産売却益	0	10
その他	—	1
特別利益合計	0	11
特別損失		
固定資産処分損	35	112
減損損失	249	255
その他	22	10
特別損失合計	307	378
税金等調整前四半期純利益	1,849	2,566
法人税、住民税及び事業税	873	1,139
法人税等調整額	△122	△330
法人税等合計	751	808
少数株主損益調整前四半期純利益	1,098	1,757
少数株主利益	2	4
四半期純利益	1,095	1,753

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,098	1,757
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1	△87
繰延ヘッジ損益	△1	△3
為替換算調整勘定	△23	15
その他の包括利益合計	△24	△75
四半期包括利益	1,073	1,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,072	1,677
少数株主に係る四半期包括利益	1	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,849	2,566
減価償却費	743	676
のれん償却額	—	3
減損損失	249	255
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	190	115
受取利息及び受取配当金	△20	△22
支払利息	108	98
為替差損益(△は益)	6	6
投資有価証券評価損益(△は益)	8	10
投資有価証券売却損益(△は益)	13	△1
固定資産売却損益(△は益)	△0	△10
固定資産処分損益(△は益)	35	112
売上債権の増減額(△は増加)	△338	△2,298
たな卸資産の増減額(△は増加)	△709	131
仕入債務の増減額(△は減少)	136	248
その他	87	522
小計	2,349	2,416
利息及び配当金の受取額	20	22
利息の支払額	△106	△101
法人税等の支払額	△373	△877
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,889	1,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△286	△395
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	69
有形固定資産の除却による支出	△253	△18
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	—	20
関係会社株式の取得による支出	—	△20
貸付金の回収による収入	2	—
その他	0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△539	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	77	△897
長期借入れによる収入	150	100
長期借入金の返済による支出	△600	△589
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△302	△403
リース債務の返済による支出	△35	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711	△1,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	628	△728
現金及び現金同等物の期首残高	2,433	3,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,061	2,486

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,928	5,447	3,158	16,533	2,572	19,106	—	19,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	3	—	10	27	37	△37	—
計	7,934	5,451	3,158	16,544	2,600	19,144	△37	19,106
セグメント利益	325	1,716	184	2,225	76	2,302	0	2,302

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産において、保有会社における利用計画がなく、時価も下落しているため、減損損失を認識した。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては246百万円である。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,498	6,785	3,371	17,655	2,461	20,117	—	20,117
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	3	—	6	3	10	△10	—
計	7,500	6,789	3,371	17,661	2,465	20,127	△10	20,117
セグメント利益	110	2,693	225	3,029	38	3,068	△0	3,068

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

その他事業において、当該部門の業績低迷のため減損損失を認識した。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては164百万円である。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

(7) 重要な後発事象

該当事項なし。